

2019 年度（令和元年度）事業報告

総務省によると 2019 年(令和元年)11 月の推計人口は 1 億 2,616 万 1,000 人で、前年同月比約 29 万 2,000 人の減、65 歳以上の高齢者人口は 3,591 万人で前年同月比約 31 万 3,000 人の増となっている。人口減少、少子高齢化が進行する中、国は一億総活躍社会を目指す中で、意欲ある高齢者が年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の構築が必要であり、今後は、特に 65 歳以上の高齢者について、多様な形態での雇用・就業機会を確保していくための環境整備に取り組むとしている。その中で、地域における多様な雇用・就業機会の確保においてはシルバー人材センター事業の推進を掲げている。

このようにシルバー人材センターにおける高齢者の一層の活躍がされている「令和」という新しい時代の幕開けの年、2019 年度（令和元年度）は当センターの第二次中期計画（以下、「計画」という。）の最終年度であった。計画は急速に進む少子高齢社会にあって、2015 年度（平成 27 年度）からの 5 年間の事業運営の指針であり、2019 年度（令和元年度）においても組織の根幹である会員の確保と就業機会の拡大、安全就業の徹底などを重点に取り組んだ。

会員の確保については、高年齢者の雇用確保措置の義務化以降、定年延長、継続雇用制度の定着など、取り巻く環境は厳しさもあったが、新規入会者の加入促進に努め、入会者は前年度をわずかながら上回ったものの、健康上の理由などによる退会者が増加したことから、会員数は減少し、依然として厳しい状況となった。

就業機会の拡大については、労働者派遣事業では、受注件数は若干減少したが、契約額は前年度を上回った。一方で、請負・委任業務においては、受注件数、契約金額とも減少し、全体としては契約金額は前年度を下回った。

安全就業面では、平素の作業状況を点検する安全パトロールを強化し事故の未然防止に取り組んだが、転落・転倒事故や機械・器具の誤操作や接触による物損事故などが多く発生し、事故件数は前年度より増加した。

なお、計画に定めた目標数値についてはこの間、会員数の減少傾向に歯止めがかからず、事業実績も伸び悩むなど総じて厳しい状況にあるが、今後も当センターが高齢者の受け皿としての機能を十分果たしながら地域社会に貢献していけるよう、計画の実施状況を検証し、基本的な考えを引き継ぎながら、新たに 2020 年度（令和 2 年度）からの 5 年間を計画期間とする第三次中期計画を策定した。

2019 年度（令和元年度）の事業実績と実施状況は、次のとおりである。

1 会員の確保

正会員の状況は、入会者は 155 人と前年度を上回ったものの、退会者が 214 人と前年度より増えた結果、年度末の会員数は、1,258 人（男性 873 人、女性 385 人）で、前年度末の会員数に比べ、59 人（4.5%）減となった。

（1）新規入会者の入会促進

○毎月第 4 木曜日に本部と北部事務所での入会説明会のほかに、5 月・6 月・

1月・2月には、本部と北部事務所で入会説明会を各1回追加実施するとともに、10月・3月には東部・西部・北部地域や市中心部で入会説明会を実施した。

- 入会説明会の参加者が具体的に就業をイメージできるよう、理事が出席して就業体験の紹介や就業相談に応じたほか、会員互助会への加入奨励も行った。また、説明会後の入会手続き段階で、個別相談に応じるなど入会促進に努めた。
 - 県連合会主催の高齢者活躍人材確保育成事業のシニアライフセミナーでセンターやシルバー事業をPRし入会促進に努めた。
 - 広島県シルバー人材センター連合会及び県内のシルバー人材センターと共同でラジオ広報を実施した。
 - 関係機関と主催した「シニア向け合同就職説明会」においてブースを設置し、センターの説明や入会案内を実施した。
 - 会報誌「いきいきふくやま」や事務局だより、職域班会議等を通して、会員に新規入会者の勧誘を要請した。
- (2) 女性会員の加入促進
- 女性会員の知人同伴でのスマホ教室の開催や、県連合会の子育て支援講習での入会案内などにより加入促進に努め、新規入会者は前年度より6人増えたが、退会数が増加したことから女性会員数は減となった。
- (3) 会員の退会防止の推進
- 新規入会者と未就業会員への就業の提供
 - ・新規入会者や未就業会員に対し、公園除草の臨時就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。
 - ・県連合会の技能講習会にて就業相談を実施し、新入会員6人を確保できた。
 - 会費未納者の退会防止
 - ・就業案内や電話による就業相談を個別に実施し、会費未納による退会の防止に努めた。

2 就業機会の拡大

(1) 発注者の満足度向上に向けた講習・研修の実施

○会員の接客・技能向上に向け、次の講習会・研修会を実施した。

講習・研修名	開催日	参加人数
剪定班視察研修	7月1日	26人
刈払機取扱作業安全衛生講習会	9月25日	7人
宛名書き講習会	10月9日・16日・23日	59人
剪定講習会「上級編」	3月9日・16日	21人

(2) 新規事業の就業の拡大

○市と子育て支援関係業務における会員の就業について協議し、改めて就業機会創出を要請した。また、新たな公園の除草業務を受注した。

(3) 労働者派遣事業の推進

○労働者派遣事業については、前年度からの継続した事業所からの受注に加え、新たな事業所からランドリー業務や倉庫内清掃等を受注した。

(4) 独自事業の推進

○再生自転車販売事業、チップ事業、さわやかまなび教室事業に取り組んだ。

(5) 人材の育成

○新規入会者等の接客・技能向上に向け、次の講習会・研修会を実施した。剪定では、入門編の講習会を実施し、参加会員 15 人のうち 10 人が剪定班で就業した。

講習・研修名	開催日	参加人数
剪定講習会（入門編）	5月27日・28日・29日・30日	15人

3 普及啓発活動の推進

(1) 計画的で効果的な普及啓発活動の推進

○福山市の広報紙及び関係機関の機関誌を活用した PR 活動

・福山市広報紙「ふくやま」への PR 記事の定期的な掲載や大型記事の掲載のほか、福山市社会福祉協議会の機関誌への PR 記事の掲載など当センターの事業紹介に取り組んだ。

・広島県シルバー人材センター連合会及び県内のシルバー人材センターと共同でラジオ広報を実施した。（再掲）

○センター車両（塵芥車）にラッピング広告をし、新規入会者の獲得に向けた PR 活動に取り組んだ。

○ホームページにより、シルバー人材センター事業の紹介や入会案内などの情報発信に取り組んだ。

○会報誌「いきいきふくやま」や「事務局だより」の発行

・会報誌や事務局だよりを発行し、会員にセンター事業の周知を図るとともに、会員による新規入会者の勧誘を要請した。

(2) ボランティア清掃活動等の社会活動の推進

○5月の福山ばら祭と10月の「シルバーの日」に福山市役所本庁舎とかんなべ市民交流センター周辺で清掃ボランティア活動を実施した。また、「ふれあい福祉まつり」に参加してリーフレット配布やチップなどの販売を通してシルバー事業の PR 活動に取り組んだ。

4 安全就業の推進

2019 年度（令和元年度）の事故は、傷害事故が 15 件、賠償事故が 14 件で、計 29 件発生し、2018 年度（平成 30 年度）と比べると全体で 1 件増加した。傷害事故 2 件増、賠償事故で 2 件増、熱中症は 3 件減となっている。傷害事故としては、転落・転倒による事故や就業途上・帰途の交通事故等が発生し、賠償事故については、刈払機による作業中の小石飛散事故やケーブル等切断のほか、作業中の接触等による物損となっている。物損事故に関しては、特に作業前に発注者と周辺財物等の損傷の有無の点検を実施することでトラブルの防止に繋げる必要がある。

- 傷害事故 落下・転落による事故 6件 就業途上・帰途の事故 2件
 機器誤操作 2件 その他 5件
- 賠償事故 接触による物損事故 6件 誤操作による物損事故 4件
 刈払機による飛散・切断事故 4件

(1) 安全委員会・安全パトロールの実施

- 安全委員会を5回開催し、安全就業推進計画や安全対策重点項目を定め、事故の未然防止の観点から、安全パトロール実施要領に基づき平素の作業状況の安全パトロールを5回実施した。
- 事故の原因分析と対策を検討し、「安全だより」やリーダー会議などでその情報の共有を図り、事故の未然防止に努めた。
- 夏期の熱中症対策（実施期間：7月25日～8月31日）を実施した。

(2) 作業前ミーティングの実施と安全就業チェックシートの活用の徹底

- 「安全だより」や各職域班リーダー会議を通して、作業前ミーティングによる安全対策の実施や「安全適正就業チェックシート」の活用による安全点検の取組の徹底を図った。

(3) 安全講習・研修の推進

- 会員の技能向上、知識の取得及び安全就業のため、次の講習会・研修会などを実施した。

【講習会・研修会】

講習・研修名	開催日	参加人数
剪定講習会（入門編）（再掲）	5月27日・28日・29日・30日	15人
刈払機取扱作業安全衛生講習会	9月25日（再掲）	7人
高齢者運転研修（連合会：送迎就業）	11月19日・28日、12月2日	11人
剪定講習会「上級編」	3月9日・16日（再掲）	21人

【各職域班リーダー会議等】

会議名		開催日	参加人数
剪定班	役員会議	4月25日、11月22日	11人
	リーダー・サブリーダー会議	6月21日	40人
公園班	リーダー会議	7月12日	26人
草取班	リーダー会議	7月24日	13人
草刈班	リーダー会議	4月5日、7月26日	27人

(4) 会員自らによる健康管理の推進

- 事務局だよりや安全だよりで、福山市の健康診査受診の呼びかけや日常の体調管理の留意点などの周知を図った。

5 適正就業の推進

(1) 適正就業の推進

- 労働者派遣事業について、民間事業者へ周知を図り、発注者ニーズに応じた就業に取り組んだ。
- 新規の民間発注者には安全衛生や労働関係法規の遵守など適正就業の徹

底を周知した。

(2) 就業機会の均等化の推進

- 公共事業部門のワークシェアリング（公共業務の公募）の実施
 - ・より多くの会員が公平に就業できるよう公共事業部門でワークシェアリングを実施し、26人が新規に就業することとなった。
- 新規入会者と未就業会員への就業の提供（再掲）
 - ・新規入会者や未就業会員に対し、公園除草の臨時就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。

(3) 発注者の満足度向上の推進

- 講習会・研修会（再掲）
 - ・会員の接客・技能向上などに向け、次の講習会・研修会を実施した。

講習・研修名	開催日	参加人数
剪定班視察研修	7月1日	26人
刈払機取扱作業安全衛生講習会	9月25日	7人
宛名書き講習会	10月9日・16日・23日	59人
剪定講習会「上級編」	3月9日・16日	21人

- 職域班リーダー会議や事務局だよりなどを通して、発注者への迅速な連絡と作業前や完了後の確認の確実な実施、就業報告書の迅速な提出などを依頼し、発注者へのサービス向上に取り組んだ。

(4) 新たな積算基準の導入に向けた取り組み

- 作業量に応じた積算基準に必要な機械使用料の見直しを行った。

6 公益社団法人としての組織体制の充実強化

(1) 公益社団法人としての組織の機能強化

- 会員確保に向けた取組みや第三次中期計画の策定、安全就業の推進などのため、理事会や理事会専門委員会、各種委員会を開催した。
- 職域班のリーダー会議などを通し、会員による自主的な運営ができる組織づくりに取り組んだ。
- 先進シルバー人材センターへの役員施策研修
 - ・2019年(令和元年)11月26日に周南市シルバー人材センターを視察し、会員の確保対策や子育て支援分野での就業機会確保策などについて研修を行った。

【総会・理事会等の開催状況】

①定時総会[1回]

開催月日	内 容
6月13日	議案審議 議案第1号 2018年度（平成30年度）事業報告について 議案第2号 2018年度（平成30年度）収支決算について

	議案第 3 号 理事及び幹事の選任について 報告事項 報告第 1 号 2018 年度（平成 30 年度）収支補正予算について 報告第 2 号 2019 年度（令和元年度）事業計画について 報告第 3 号 2019 年度（令和元年度）収支予算について
--	--

②理事会 [7 回]

開催月日	内 容
5 月 17 日	議案審議 議案第 1 号 2018 年度（平成 30 年度）事業報告について 議案第 2 号 2018 年度（平成 30 年度）収支決算について 議案第 3 号 理事及び幹事候補者の選考について 議案第 4 号 表彰について 議案第 5 号 2019 年度（令和元年度）定時総会について 議案第 6 号 理事長に対する権限委任について 報告事項 報告第 1 号 正会員入会者の報告について 報告第 2 号 未収金の回収状況について
7 月 4 日	報告事項 報告第 1 号 正会員入会者の報告について
8 月 27 日	議案審議 議案第 1 号 消費税率の引き上げに伴う配分金単価の改定について 報告事項 報告第 1 号 正会員入会者の報告について
10 月 18 日	報告事項 報告第 1 号 正会員入会者の報告について 報告第 2 号 職務執行状況の報告について 報告第 3 号 事業報告について 報告第 4 号 正会員会費の納入状況について 報告第 5 号 未収金の回収状況について 報告第 6 号 第二次中期計画の成果等について
1 月 30 日	議案審議 議案第 1 号 配分金見積り基準等の改定について 議案第 2 号 2019 年度（令和元年度）収支補正予算について 報告事項 報告第 1 号 正会員入会者の報告について 報告第 2 号 広島県最低賃金の見直しに伴う配分金単価の改定について
2 月 21 日	議案審議 議案第 1 号 第三次中期計画の策定について

	<p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 ワークシェアリング（公共業務）の取組みについて</p> <p>報告第5号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第6号 未収金の回収状況について</p>
3月12日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 配分金単価（時間単価以外）見積り基準の改定について</p> <p>議案第2号 2020年度（令和2年度）事業計画（案）について</p> <p>議案第3号 2020年度（令和2年度）収支予算（案）について</p> <p>議案第4号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 2019年度（令和元年度）収支決算見込について</p> <p>報告第3号 機械使用料の見直しについて</p>

③理事会専門委員会 [4回]（総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会）

開催月日	内 容
7月4日	○総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会の合同会議 ・委員長の互選について
10月18日	○総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会の合同会議 ・第二次中期計画の成果等について
12月6日	○総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会の合同会議 ・第三次中期計画の構成（案）について
1月30日	○総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会の合同会議 ・第三次中期計画（案）について

④会計監査[1回]

開催月日	内 容
5月9日	<p>監査事項</p> <p>(1) 2018年度（平成30年度）事業報告について</p> <p>(2) 2018年度（平成30年度）収支決算報告について</p> <p>(3) 会計帳簿等について</p>

(2) 公益社団法人としての業務運営の効率化

○全国シルバー人材センター事業協会主催の派遣元責任者講習会や実務担当者研修会などに出席し、事務局職員の資質向上と事務処理能力の向上に努めた。

7 財政基盤の確立

- 会員の確保や就業機会の拡大、労働者派遣事業等の開拓、公共業務の維持継続を図りながらセンターの事業基盤強化に努めた。
- 請求書の早期送付など会員と連携して迅速な事務処理に取り組み、早期回収と未収金の防止に努めるとともに、会費未納者へは就業機会の提供を図り、就業を通じた会費納入の促進に努めた。
- 請負業務の配分金単価見積り基準の改定方針を定め、見直しを行った。
- 計画的、効率的な予算執行と経費の節減に努めた。
- 受注、就業の状況は次のとおりである。

【請負・委任業務の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 9,368 件（対前年度比 702 件減）
- ・契約金額 489,904,181 円（対前年度比 24,123,801 円減）
- ・公共事業と民間事業の比率
公共 25.61% 民間 74.39%（うち個人 59.69% 企業等 40.31%）
- ・契約金額に占める職域群ごとの割合
 - 運搬・清掃・包装等の職業（除草、草刈、屋内清掃など） 53.93%
 - 農林業の職業（剪定、伐採、農作業など） 27.15%
 - サービスの職業（家事援助サービス、駐車場管理など） 13.23%
 - 生産工程の職業（襖障子張替、チラシ封入作業など） 2.75%
 - 事務的職業（一般事務、宛名書き、筆耕など） 2.40%
 - 建設・採掘の職業（大工・左官など） 0.24%
 - 輸送・機械運転の職業（自動車運転など） 0.19%
 - 専門的、技術的職業（刃物研ぎ、ハチ駆除など） 0.09%
- ・受託件数 13,865 件（対前年度比 986 件減）
- ・就業延人員 119,189 人（対前年度比 9,303 人減）
- ・就業率 78.1%（対前年度比 1.1 ポイント増）

【労働者派遣事業の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 123 件（対前年度比 15 件減）
- ・契約金額 70,885,718 円（対前年度比 1,371,544 円増）
- ・就業延人員 15,006 人（対前年度比 290 人増）
- ・就業率 66.7%（対前年度比 5.3 ポイント減）